

# 環境にやさしい農業生産と 農業への理解促進

つくば地域は、つくばエクスプレスの開通に伴って都市化が進み、農家や農地の近隣に住宅地が増加する環境になっており、消費者に対する安全・安心な農産物生産、農業・農村の理解促進、都市と農村の交流が求められています。

普及センターでは、農薬適正使用研修会による安全・安心な農産物生産への意識改革や、新たに「食農推進員」を委嘱し、消費者への食の安全・安心と農業生産の理解促進、美しい農村環境を作り上げた「エコ農業優良地区」における農産加工品の販売や体験農園など、都市と農村の交流活動を支援しています。

## 農薬適正使用研修会の開催

栽培履歴記帳や農薬の安全使用、直売所店頭での適正表示に地域全体で取り組むため、市・JAと連携し管内の直売所・生産部会の農業者を対象に農薬適正使用研修会を開催しています。農薬の適正使用、環境に優しい農業について検討、情報交換・活発な質疑により、安全・安心な農産物の生産に向けての意識を高めています。



農薬適正使用研修会



食農推進員圃場での消費者との交流

## 農業への理解を促す消費者との交流

普及センターでは、管内の農業者に食の安全・安心と農業への理解を深める活動を行う「つくば地域食農推進員」になっていただき、平成23年2月、取手市、守谷市において、消費者を対象に食農推進員の圃場見学会を開催しました。消費者からは、「栽培や安全・安心の取り組み、農業の苦勞がわかった。」「もっと消費者にPRすべきだ。」との声があり、消費者が生産現場の安心・安全の取り組みや苦勞を理解する良い機会となっています。

## エコ農業優良地区における取り組み

都市住民との混住化が進んでいるつくば市百家地区では、農村環境を保全するため農業以外の方を含めた活動組織を設立し、美しい農村環境作りを進め平成22年3月優良地区となりました。地域特産ブルーベリーの「いばらきエコ農産物認証」にも取り組み、「つくばブルーベリーゆうファーム」では、環境にやさしい農業が体験できる「田園型サポート付き体験農園」を整備、当地区では「食と農を知るツアー」など、消費者との交流にも積極的に取り組んでいます。



食と農を知るツアー